

部局名	総務企画部	所属名	情報管理課	所属長名	川嶋 武宣	電 話	483-1151 内線2450
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4216		事務事業名称	基幹情報システム管理事業					短縮コード	経常	4216	臨時	4215
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	情報管理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市電子計算組織管理運営規程							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
汎用機システムからオープン化システムへの再構築を実施するとともに、住民基本台帳法改正に伴う対応を実施し、平成24年7月より運用を開始する。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		6本の柱（章）	07	計画の推進のために					
電子自治体の構築が要請される中、情報システムを活用した市民サービスの向上や行政事務の改善が進んでいる。また、制度の改正や地方分権による行政事務の増加などの理由により、新たなシステム開発、保守の要望が増えている。						大項目（節）	01	市民主体による自立的な行政経営					
						中 項 目	03	第3章持続可能な行政経営の確立					
						小 項 目	01	(1)効率的な行政運営の確立					
細 項 目	05	⑤電子自治体の推進											
				実施計画の計画事業	7103	基幹情報システム再構築事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	システムを利用する各課（室、委員会等含む）						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 1. 新基幹情報システム導入事業者の選定・契約。 2. 現基幹情報システムからのデータ抽出、新基幹情報システムへのデータ移行。 3. 新基幹情報システムの仕様決定。 4. 新基幹情報システム検証作業。						
	※平成24年度に計画していること： 1. 現基幹情報システムからのデータ抽出、新基幹情報システムへのデータ移行。 2. 新基幹情報システム検証作業。 3. 新基幹情報システム運用開始。						
意図 （何を狙っているのか）	業務の効率化、簡素化と経費削減、市民サービスの向上、法制度改正などに対応するために、各課からシステムレベルアップ要望を管理し効果的に執行する。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	システム利用課の数	課	0	27	27	27
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	運用保守課数	課	0	0	0	27
	指標 2	サポート処理件数	件	0	0	0	2,700
	指標 3						
成果指標	指標 1	システム要望を提出した課	課	0	0	0	27
	指標 2	システム要望を執行した課	課	0	0	0	27
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	4216	事務事業名称	基幹情報システム管理事業				所属名	情報管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			市民サービスの向上を考慮し、より迅速化・効率化を図るために平成24年7月から導入するオープン化システムをSLM（サービスレベルマネージメント）を通して管理していく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経費			法制度改正等の対応については、大規模な法制度改正以外は特別な対応費用が発生しないことになり、システム開発費の削減となる。また、窓口改革を実現した場合にシステム面で対応が可能なものとなるよう、総合窓口・総合収納等への対応を考慮したシステムとなる。 平成24年7からは基幹情報システムが稼働し、サービス対価への支払いが発生するためコスト増加となる。	
				削減	不変	増加		
		成果	向上	☐	☐	☒		
			不変	☐	☐	☐		
		低下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
各課では、市民サービスの向上や、市民要望に効率的に短時間で対応する必要があるため、八千代市として統一的なシステムを導入し、データの連携を図り、事務改善（事務処理時間の短縮、事務処理の整理等）に向けたシステム保守についても随時対応してもらいたいとの要望が増加している。									

所属長コメント	関係各課と協議を行い、連携を図りながら、再構築する基幹情報システムに円滑に移行し、平成24年7月からの円滑な運用に努める。また、市民サービスの向上に寄与するよう、SLAに基づき、提供される業務の適切な水準の維持・確保を図る。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			関係課との連携により、基幹情報システムへの円滑な移行、運用に努めること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
	☐ 廃止・休止								
	☐ 事業完了								
	☐ 現状のまま継続								